

木のぬくもりあふれる家で新生活はじめます 〈飯貝地区定住促進住宅〉

子育て世代に定住してもらおうと、飯貝に新しい町営住宅を建設し、6家族が入居しました。吉野材の香り漂う町営住宅は戸建て住宅が2戸、集合住宅が4戸。今回、集合住宅に入居した廣田さんご一家にインタビューしました。

子育て世代の定住と 地場産業の活性化

全国的に少子高齢化が進む中、吉野町の高齢化率(※)は48%を越え、若年層の人口比率が低い状況です。この定住促進住宅はこれからの吉野町を担う「子育て世代」の定住を図る住居を確保するため、建築されました。

また入居者の方に木の良さを体感していたらと共に、地場産業である製材業や建築業の活性化をねらい、外壁や床などに吉野産材の杉がふんだんに使用されました。

※高齢化率…65歳以上人口が総人口に占める割合

◁集合住宅2階。外側には木製バルコニー。



戸建て1階LDK・和室

木のぬくもりと心地よさ

住宅の構成は、戸建て住宅が2階建て4LDK、集合住宅が2階建て2LDK。内装の床や柱、台所のカウンタ―、バルコニー、濡れ縁などにも吉野の「木」が使用され、室内に一步入れば木の匂いが心地よく香ります。

吉野杉の強度は構造材としても十分にあり、吉野材を使用した床材や家具

などは素肌に直接触れるとあたたかみを感じます。また、香りによるリラックス効果をえられるなど、吉野材には魅力が多くあります。

吉野町では、吉野の「木」の良さを見直していただくため、吉野材の魅力を発信し続けていきます。

入居家族へインタビュー

今回取材にご協力いただいたのは、廣田さんご一家(夫婦と子ども2人)。

広報広聴室(以下広報) 新しい町営住宅へ引っ越しをして少し経ちましたが、住み心地はいかがですか？

廣田さん(夫) 毎日本の香りに包まれて気持ちよく過ごしています。

広報 新居にこの町営住宅を選んだ決め手は何ですか？

廣田さん(夫) 檀原市や大淀町など便利な場所の家を探したりしましたが、吉野町が、妻の職場と私の職場の間にあったことからこちらに決めました。

廣田さん(妻) 私は吉野町出身なんですけど、自然あふれる生まれ育った吉野町で子育てをしたいと思ったことと、家賃が安いことも魅力でした。

広報 子どもさんたちの様子はいかがですか？

廣田さん(妻) こども園から帰るとすぐに子ども部屋へ行って、2人で仲良く

遊んでいます。

広報 建物に吉野材が使われていますが木の良さをどんなところで感じますか？

廣田さん(妻) 床を裸足で歩くと、木のぬくもりを直接感じられるので気持ちがいいです。子どもがおもちゃを落としたりするとへこんだり傷がついたりするので最初は気をつけていたんですが、これも無垢の木ならではの良さだと思って今は気にならなくなりました。これからのものびのびとした子育てをしたいと思っています。

広報 ありがとうございます。ご家族一緒に、吉野町で末永くお幸せに。

園役場 総合政策課 広報広聴室

TEL(32)9090

◁左から祐樹さん、祐将くん、梓さん、千奈ちゃん



木のまち吉野 ～木のある暮らし～

吉野林業は、500年前から地域の経済と雇用を支え、脈々と受け継がれてきました。この歴史や木の文化を、吉野の未来を担う次の世代へ引き継いでいきたいとの想いを込め、吉野町は、町制60周年の平成28年に『木のまち吉野』未来宣言を行いました。このページでは、森の恵みから生まれた暮らしや営み、木との触れ合いなど、吉野の木に関する「今」をお伝えしていきます。

木のまち吉野のPR in 大阪・桜ノ宮

4月2日から5月18日までの期間、大阪・桜ノ宮にある近畿中国森林管理局にて、『魅せる木材・森林展～「林業×地域おこし」の先進地の手法～』というテーマで吉野町をPRする展示を行いました。



大盛況 物産コーナー

展示内容は、吉野林業の起こりから吉野杉の家などの取り組みを紹介するパネル、ファースト・トイや愛・学習机など町内プロジェクトに関する木製品、森林セラピーの案内などです。

会期中の4月16・17日には吉野町特産物の販売コーナーを設け、沢山の方に立ち寄って頂きました。来場の方に桜茶を振る舞い、「吉野の香りがする」と、しばし足を止めて味わっていました。

また、それに併せて木の玉プールやファースト・トイなどを開放し、幅広い年齢層の方にご利用頂きました。特に木の玉プールは目を引くらしく、大人の方でも10分以上プールの中で木の玉による足裏マッサージを楽しまれることも珍しくありません。木の香りと感触からくる癒し効果のためでしょう。杣に腰かけて木の香りに包まれる中で来場者同士のコミュニケーションも生まれ、憩いの場となっていました。



吉野材のおもちゃコーナー

ピンクも木のおもちゃと一緒に遊びたいな♡



クロモジの枝で
香り袋作り体験



交流が生まれます
木の玉プール



にぎわう！ 展示会場

古くは大阪城建築に吉野の木が使われたという縁の深い街ではありますが、「木はいいけど、高い」というイメージを持つ方が多いようです。一方で、病気や環境問題に対する社会的関心が高まる中、生活空間に木を取り入れることが健康管理や環境保全に寄与するということを示す科学的なデータが増えてきています。

木のある暮らしにはお金では買えない価値があるということを、実際に木の空間や木製品を通して理解を深めて頂く。それが私たちの使命だと信じています。